

何を作ればいいかわからない人のための、個人開発のはじめかた

個人開発 × GPT = 最強の学習法

saijo.shota

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

前提

今回お話しする内容は

CursorやDevinのようなAIエージェントを使って爆速で個人開発を進める話ではありません
生成AIを使って個人開発をすることで、**スキルアップしよう** という話です。

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

はじめに

こんなモヤモヤ、ありませんか？

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

フレームワークのチュートリアルは一通り終えたけど、「実務でどう使うか」が結局わからない

業務では細切れのタスクしか任されず、0→1の設計に挑戦するチャンスがない

バグ修正や既存機能の追加ばかりで、技術が成長してる実感が持てない

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

これ全部個人開発で鍛えられます！

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

個人開発 = 筋トレの多関節種目

スクワットが脚だけでなく体幹・背中まで同時に鍛えるように、
アプリの全層を一度に経験できるのが最大の魅力です。



1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

個人開発で実際に鍛えられるスキル例

- DBアクセス・テーブル設計
 - パフォーマンスを意識した正規化、インデックス設計、トランザクションの理解と適切な使い方
 - テーブル設計やアプリケーションからデータベースにどうやってアクセスするかのレポジトリ設計
- 技術選定
 - フレームワーク・ライブラリの比較と選定基準、用途に応じた技術スタックの構築力
- インフラ構成
 - Dockerなどによる環境構築、CI/CDの設計と運用、デプロイ戦略の立案と実装
- テスト設計
 - ユニットテスト・E2Eテストの実装、テストしやすい構造への設計力、カバレッジの意識
- ログ設計
 - 運用を見据えたログ出力の設計、ユーザー行動やエラーの可視化、分析を前提とした構造化ログの設計
- 配信方法
 - Homebrewやnpm、GitHubリリースなどによる配布
 - ユーザーに届けるまでの一連のパッケージング・配信体験の設計

1. 個人開発は筋トレにおける多関節種目である

若手には回ってこない“基礎設計”まで、全部自分でチャレンジできます

2. 個人開発の壁

でも、個人開発は大変なんですよ？

2. 個人開発の壁

何を作ったらいいかわからない



2. 個人開発の壁

どうやって作ればいいのかわからない



2. 個人開発の壁

動いたけど、これであってるのかわからない



2. 個人開発の壁

作っても誰も使ってくれないんじゃないか



3. GPTは最強のパートナー

壁をどうやって乗り越える？

3. GPTは最強のパートナー

ChatGPTを使いましょう

3. GPTは最強のパートナー

何を作ればいいのかわからない

GPTに壁打ち相手になってもらいましょう。

ChatGPTは、自分が使いたい技術・目的・制約条件を伝えるだけで、ネタを束ねて提案してくれます。

アプリの名前も一緒に考えても

3. GPTは最強のパートナー

どうやって作ればいいのかわからない

実装に悩んだときは、ChatGPTが設計方針やコード例を即座に提案してくれます。

Goで、Ctrl+Cを押されたときに優雅にプロセスを終了させたい。
標準ライブラリだけでできる？
サンプルコードも欲しい。

CLIで通知音鳴らしたいんやけどできる？

3. GPTは最強のパートナー

動いたけど、これであっていいのかわからない

ChatGPTはコードレビューや設計フィードバックの疑似相手にもなれます。

- ChatGPTからgithubのレポジトリにdeep research
- <https://gitingest.com/saijo-shota-biz/reflo> を使って貼り付け

3. GPTは最強のパートナー

作っても誰も使ってくれないんじゃないか

「プロダクトの魅力 / 身につくスキルとその有用性」を言語化

refloの魅力を、LP風の文章にして

refloを作りきったら、どんなスキルがつくかなあ

現時点でどんなスキルがついたと思う？

4. まとめ

まとめ

1. 個人開発は全スキルを一気に鍛えることができる最強の学習方法であることを説明しました。
2. 個人開発には「何を作るか」「どう作るか」「正しいのか」「意味あるのか」の4つの壁があることを説明しました。
3. GPTはそのすべてに対して壁打ち相手・技術パートナー・レビュー担当・行動の価値の言語化といった役割で支えてくれることを説明しました。

4. まとめ

やらない理由はもうないよね？

今すぐお気に入りの生成AIに

個人開発を通して、○○（自分が伸ばしたい技術）を学びたいから、プロダクトのアイデアを出して

って言うってみて

4. まとめ

それがあなたの“最強の学習法”のスタートです。



4. まとめ

ありがとうございました



5. 宣伝

ちょっとだけ宣伝させてください🙏

<https://saijo-shota-biz.github.io/reflo/>